

奈良県立高円・高円芸術学校 中期計画

対象期間		令和4年4月～令和7年3月
本校の使命（スクール・ミッション）		普通科と芸術系学科からなる本校の特性を生かした感性豊かな人材の育成。地域社会の芸術文化の担い手の育成。
教育方針（スクール・ポリシー）	入学者の受け入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）	<p>本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本校の使命や教育方針を理解する生徒。 2 自ら考え、自ら行動し、他者との対話を通じ、学習活動に協働的に取り組むことができる生徒。 3 互いの立場を理解しようとする人権尊重の精神を持ち、他者との関わりを通じて自己の成長を目指す生徒。 4 普通科においては、基礎的な学力を身につけ、学習活動に主体的に取り組むことができる生徒。 5 音楽科・美術科・デザイン科においては、自己の表現を探究し続ける姿勢と、生涯にわたって芸術文化に関わっていくとする熱意にあふれ、学習活動に主体的に取り組むことができる生徒。
	教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）	<p>本校では、主体的な学習態度に根ざした確かな学力の醸成・芸術文化の薫り漂う学習環境に根ざした豊かな人間性の醸成・他者とのつながりと自己理解に根ざした健やかな心身の育成を教育方針とし、その実現のため、以下の教育を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生徒一人一人の興味・関心に応じた科目選択が可能なカリキュラムを編成します。 2 奈良県唯一の「芸術高校」を名乗るのにふさわしい「学校設定科目」を開設し、すべての学科において、芸術文化の担い手の育成を目指します。 3 基本的な生活習慣を身につけさせ、規律ある学校生活を送ることができるよう、規範意識を育みます。 4 主体的な学習態度である「PDCA」サイクル【Plan：計画】【Do：実施】【Check：評価】【Act：改善】を身につけさせる学習指導を行います。 5 学習活動のすべての場面において、人権尊重の姿勢を育み、生徒の自己肯定感を高める指導を行います。 6 保健・食育指導等を通して、体力の向上を図り、心身の健康への意識を高める指導をします。
	育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）	<p>本校では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。</p> <p>他者とのつながりを大切に、自己の成長につながる努力を、卒業後も主体的に取り組み続けることができる。</p> <p>【普通科】確かな学力と、芸術文化を理解する力に裏付けられた豊かな人間性を基盤に、地域社会への貢献を意識して主体的に行動する人材。</p> <p>【音楽科】音楽文化の創造と発展に寄与し、地域社会に貢献しようとする人材。</p> <p>【美術科・デザイン科】生活の中の造形や美術文化に関心を持ち、地域社会に貢献しようとする人材。</p>

奈良県教育振興基本計画（「奈良の学び推進プラン」）が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標	令和6年度末目標値等
1. こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	体力の向上	○体育の授業にトレーニングや柔軟運動を随時取り入れ、「基礎体力の向上」を実感した生徒の割合70%以上を目指します。
	心身の発達	○スクールカウンセラー指導監修のもと「ピアクラブ委員会」に所属する生徒が学期に2回「ピアクラブ便り」を発行、時期に応じたセルフメンタルケアの方法等を紹介し、 ○子どもを理解する一助とする目的で、年2回、保護者宛「スクールカウンセラー便り」を発行、高校生への心の発達について情報提供し、 ○以上の取り組み等を通じ、本校は「メンタルケア等に役立つ情報を発信している」と感じた生徒及び保護者の割合70%以上を目指します。
	望ましい食習慣の確立	○「食育だより」を年1回発行し、朝食の大切さや食事の重要性を呼びかけます。 ○育友会との連携を図り、食育をテーマとした「保護者対象講演会」を年1回実施します。 ○以上の取り組み等を通じ「食習慣等の基本的な生活習慣が身につけている」と感じた生徒の割合70%以上を目指します。
2. 学ぶ力、考える力、探求する力をはぐくむ	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	○本校の特色ある授業等の授業研究を実施し、授業改善に向けた教員研修の機会とします。 ○本校での学習活動により「学力が伸長した」と実感した生徒の割合90%以上を目指します。
	学習意欲の向上	○全科目において生徒の「PDCAサイクル」の醸成を目標とした授業を展開します。 ○年に2回、情報交換のための職員研修会を開催します。 ○本校での学習活動により「学習意欲が向上した」と実感した生徒の割合80%以上を目指します。
	オンライン教育の推進	○「電子黒板」やBYODによる生徒用端末を用いた各教科の授業研究を実施し、授業改善に向けた研修の機会とします。 ○オンライン教育推進のための教員研修を、年3回以上実施します。 ○本校のオンライン教育への満足度90%以上を目指します。
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	インターンシップの充実	○キャリア教育サポートセンター主催インターンシップ（夏期、冬期、春期）3回を実施するとともにアカデミック・インターンシップを含むインターンシップの取り組みへの参加を促し、参加率90%以上を目指します。
	産業界との連携の推進	○進路講演会「職業人に聞く！」を年1回開催し、その成果が自身の職業選択のきっかけとなる学問への興味につながるよう生徒に働きかけます。 ○本校の取り組みが「将来を見据え具体的に進路を考えるきっかけになった」と実感した生徒の割合90%以上を目指します。
	キャリア教育の推進	○第1学年は「分野別進路ガイダンス」、第2学年は「学問別分野ガイダンス」、第3学年は「面接マナー講習会」及び「志望理由書対策講座」を実施します。また「大学等キャンパス見学会」及び「会場型進学ガイダンス」を実施します。 ○本校の取り組みが「自身の進路選択に役立った」と実感した生徒の割合90%以上を目指します。

4. 地域と協働して活躍する人を育てる	コミュニティ・スクールの運営	○学校運営協議会を年3回開催し、本校の教育活動への評価及び、本校の発展について意見交換の場をもちます。
	郷土の芸能、文化、自然等に関する学習の推進	○一年次の「総合的な探究の時間」で行う「ならまち探索」「正倉院訪問」等を通し郷土奈良への理解を深めます。 ○本校の取り組みを通して「郷土への理解や興味が高まった」と実感した生徒の割合90%以上を目指します。
	芸術文化活動の推進	<p>■普通科■</p> ○特色ある学校作りを目指した学校設定科目である「総合芸術探求」や「伝統芸術探求」での学びを活かして、選択生徒が様々な学校行事において運営に参画するとともに、成果を発表します。 ○普通科の取り組みへの満足度90%以上を目指します。
		<p>■音楽科■</p> ○様々な行事での演奏並びに、定期演奏会での演奏に向け、計画的に学習活動を進めます。 ○卒業演奏会での発表を3年間の学びの集大成とします。その経過点として、月例ホールコンサートを年間8回開催します。 ○地域と連携したアウトリーチ活動にも積極的に取り組みます。 ○音楽科の取り組みへの満足度90%以上を目指します。
		<p>■美術科・デザイン科■</p> ○高円美術展を開催し、年間の学びの集大成とします。その経過点として様々な展覧会等への出品に向けた創作活動に取り組みます。 ○地域と連携した活動に積極的に参加します。 ○美術科・デザイン科の取り組みへの満足度90%以上を目指します。
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	人権教育学習資料の活用	○『なかまとともに 高等学校』（奈良県教育委員会発行）を、人権教育のホームルーム活動で積極的に活用します。 ○毎月11日の「人権を確かめ合う日」にあわせ、啓発プリントを発行し、生徒が人権意識の醸成を図ることのできるよう、教材を提供します。 ○本校の取り組みを通し「人権に対する意識が高まった」と実感した生徒の割合90%を目指します。
	学校いじめ防止方針に基づく取り組みの推進	○「こころといじめ等に関するアンケート」（奈良県教育委員会）を年2回以上実施します。 ○アンケート結果を分析し、適宜「いじめ対策委員会」を開き、それぞれの事案に迅速に対応します。 ○校内での人間関係に関する満足度80%を目指します。
	個別の教育支援計画や個別の指導計画の実効性のある活用	○生徒の実態に合わせた、個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成し、合理的支援の必要性や方法について協議します。その内容は、本人及び保護者に随時確認するとともに、教員間で情報共有を図ります。 ○個々の生徒への教育支援に関する満足度90%を目指します。